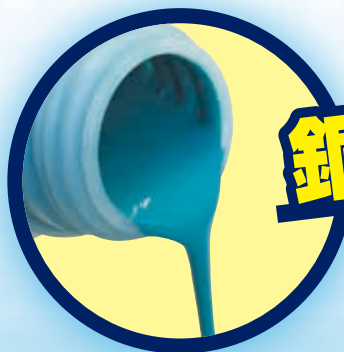




殺菌剤

クミガード®SC

銅水和剤



銅剤をもっと、
使いやすく!



殺菌剤

クミガード[®]SC

有効成分：水酸化第二銅・・・20.0%（銅として13.0%） 人畜毒性：普通物（毒劇物に該当しないものを指している通称）

殺菌剤分類 M1

特長

- 薬液調製などの取り扱いが容易な、液状の水酸化第二銅剤です。
- 各種の作物病害に予防的散布で効果を示します。
- 優れた製剤技術により安定した防除効果を示します。

適用病害と使用方法

2024年2月現在の登録内容

作物名	適用病害名	希釈倍数	10アール当たり 散布量	使用時期	本剤の 使用回数	銅を含む農薬の 総使用回数	使用方法
ばれいしょ	疫病、軟腐病	500倍	100~300ℓ	—	—	—	散布
てんさい	褐斑病						
にんじん	黒葉枯病						
たまねぎ	りん片腐敗病、軟腐病						
はくさい	軟腐病						
あずき	褐斑細菌病						
だいず、えだまめ	紫斑病						
かんきつ	かいよう病、黒点病、そうか病	500~ 1000倍	200~700ℓ	—	—	—	
りんご	すす斑病、炭疽病	1000倍					
ぶどう	べと病						
茶	炭疽病、もち病、赤焼病	500倍	200~400ℓ	摘採前日まで	—	—	—

⚠️ 使用上の注意

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 本剤は長時間貯蔵しておくことと分離するので、使用の際は容器をよく振って均一な状態に戻してから所定量を取り出してください。なお、希釈する場合は、所定量の水に加えてから十分攪拌してください。
- かんきつに使用する場合は次の事項に注意してください。
 - 発芽期以降は薬害（スターメラノーズ）を生じるおそれがあるので、炭酸カルシウム水和剤を加用してください。特に果実の着生時期の散布では厳守してください。
 - 樹勢の弱い木への散布や異常気温の予想される場合の散布はさけてください。
- ぶどうに使用する場合は、薬害を生じるおそれがあるので、炭酸カルシウム水和剤を加用してください。また、果房の汚れを生じるので、無袋状態での使用は注意してください。
- りんごに使用する場合は、薬害を生じるおそれがあるので、炭酸カルシウム水和剤を加用してください。また、サビ果が多くなるおそれがあるので、落花直後から落花後30日頃までは使用しないでください。
- はくさいに使用する場合は、結球期以降の散布は薬害を生じるおそれがあるので、結球初期までに散布してください。
- 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをお勧めします。

- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをお勧めします。

⚠️ 安全使用上の注意

- 誤飲に注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けてください。
- 本剤は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用して薬剤が皮膚に付着しないよう注意してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具・容器の洗浄水は河川等に流さず、空容器は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

- 保管：密栓し、直射日光をさけ、食品と区別して冷涼な場所に保管してください。

詳しい使い方、
登録内容とSDSは
こちらから。

本資料は2024年2月現在の知見に基づき作成しています。

- 使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。 ●空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、水産動植物に影響のないよう適切に処理してください。 ●防除日誌を記帳しましょう。